

2020 年 4 月 16 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「資源ツインαファンド(通貨選択型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「資源ツインαファンド(通貨選択型)」の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 「資源ツインαファンド(通貨選択型)」の基準価額

コース名	2020 年 4 月 15 日 基準価額(円)	2020 年 4 月 16 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
ブラジルリアルコース	314	299	▲15	▲4.78

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

◆ 市況情報

	2020 年 4 月 14 日	2020 年 4 月 15 日	騰落率 (%)
WTI 原油先物価格	20.11	19.87	▲1.19
COMEX 金先物価格	1,768.90	1,740.20	▲1.62

(小数点第 3 位四捨五入)

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、4 月 14 日と 4 月 15 日と比較しています。
原油先物価格の単位は米ドル/バレル、金先物価格の単位は米ドル/トロイオンスです。

	2020 年 4 月 14 日	2020 年 4 月 15 日	騰落率 (%)
ブラジルリアル(対米ドルレート)	0.1927	0.1903	▲1.24
米ドル(対円レート)	107.22	107.42	0.18

(ブラジルリアルは小数点第 5 位四捨五入、米ドルおよび騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後 4 時のレートです。
ブラジルリアル(対米ドルレート)の単位は米ドル、米ドル(対円レート)の単位は円です。
各レートについては基準価額への反映を考慮し、4 月 14 日と 4 月 15 日と比較しています。

出所:ブルームバーグ

◆足許の状況

OPEC(石油輸出国機構)加盟国やロシアなどの主要産油国の間で原油の協調減産が合意に至りましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の防止策として世界各国で実施されている都市封鎖や移動制限によって、経済活動の停滞からもたらされる原油需要の減少を補うには不十分な減産量との見方が強まり、原油先物価格は大きく下落しました。米国で発表された小売売上高や鉱工業生産などの経済指標がいずれも市場予想よりも大幅な悪化を示したことから、実体経済への影響が確認され、さらにはその余波が新興国でも意識されたため、ブラジルレアルを始めとする新興国通貨も下落しました。

このような市場動向により、ファンドの基準価額は前営業日比で 4%超の下落となりました。

◆今後の見通し

原油先物市場は引き続き不安定な相場展開が見込まれます。欧米の一部の国では、新型コロナウイルスの感染者増加にピークアウトの兆候が見られるものの、依然として都市封鎖の解除や通常の経済活動の再開までどの程度の期間を要するかは不透明なままとなっております。原油需要の大幅な減少が見込まれる中、主要産油国の協調減産による需給環境改善に向けた効果には懐疑的な見方が強まっております。

上記の景気の先行きの不透明感に加え、新興国では脆弱な財務基盤や政治・地政学リスクなどの不安要素が多く、新興国通貨への警戒感が強いいため、ブラジルレアルも不安定な動きが続くと見られます。米国内での感染者が世界最多となり、失業者の大幅な増加や各種経済指標の悪化を背景に、米ドルも荒い値動きとなる可能性があります。足許で米国長期金利の低下に落ち着きが見られることなどを踏まえると、対円での下落は一定水準に留まる可能性が考えられます。

以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の1.00% または1口(設定時1口1万円)あたり250円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年2.035%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。